

防人衛第 5 7 3 1 号
令和 3 年 3 月 3 1 日
一部改正 防人衛第 5 9 1 9 号
令和 6 年 3 月 1 5 日

大 臣 官 房 長
各 局 長
施設等機関の長
各 幕 僚 長 殿
情 報 本 部 長
防 衛 監 察 監
各 地 方 防 衛 局 長
防 衛 装 備 庁 長 官

大臣官房衛生監
(公印省略)

防衛医学先端研究の実施に関する訓令の運用について（通知）

標記について、防衛医学先端研究の実施に関する訓令（平成 2 7 年防衛省訓令
第 2 6 号）第 1 2 条の規定により、別紙のとおり定めたので通知する。
なお、防人衛第 1 3 1 3 5 号（2 7． 8． 2 6）は、廃止する。

別添書類：別紙

防衛医学先端研究の実施に関する訓令の運用

1 幕僚長からの要望

- (1) 防衛医学先端研究の実施に関する訓令（平成27年防衛省訓令第26号。以下「訓令」という。）第3条に規定する「幕僚長からの要望」について、統合幕僚長、陸上幕僚長、海上幕僚長及び航空幕僚長（以下「幕僚長」という。）は、課題別研究を要望する場合は、研究を開始する年度の前々年度の9月末日までに、防衛医学先端研究課題別研究要望書（別紙様式第1）を作成し、防衛医科大学校長（以下「学校長」という。）に提出するものとする。
- (2) 学校長は、幕僚長に対し、必要に応じて課題別研究の提案をすることができる。

2 計画書等の作成

- (1) 訓令第3条に規定する課題別研究計画書の様式は、別紙様式第2のとおりとする。
- (2) 学校長は、課題別研究計画書の作成に当たり、関係する幕僚長と協議するものとする。
- (3) 学校長は、課題別研究計画書について防衛大臣の承認を得た場合は、その旨を関係する幕僚長へ通知するものとする。
- (4) 訓令第4条に規定する課題別研究年度計画書の様式は、別紙様式第3のとおりとする。
- (5) 学校長は、課題別研究年度計画書の作成に当たり、関係する幕僚長と協議するものとする。
- (6) 学校長は、課題別研究年度計画書について防衛大臣の承認を得た場合は、その旨を関係する幕僚長に通知するものとする。

3 防衛医学先端研究の実施に関する協定

学校長は、防衛省の職員以外の者と共同して研究を行う場合には、当該部外研究施設等の長との間で、設備及び機械器具等の使用に関する事項、賠償責任に関する事項、秘密の保全に関する事項、研究成果の公表に関する事項及び知的財産権の出願等に関する事項その他共同して研究を行うために必要な事項について協議し研究開始までに取り決めを締結するものとする。

4 計画書の変更又は課題別研究の中止

- (1) 訓令第7条第1項に規定する年度計画書を変更し防衛大臣に報告した場合、その旨を関係する幕僚長に通知するものとする。
- (2) 訓令第7条第2項に規定する課題別研究計画書の変更又は同第3項に規定する課題別研究の中止について、防衛大臣の承認を得た場合、その旨を関係する

幕僚長に通知するものとする。

- (3) 学校長は、課題別研究年度計画書を変更する場合は、関係する幕僚長と協議するものとする。

5 成果等の報告

- (1) 訓令第8条第1項に規定する課題別研究成果報告書の様式は、別紙様式第4のとおりとする。
- (2) 訓令第8条第2項に規定する課題別研究年度報告書の様式は、別紙様式第5のとおりとする。

6 防衛医学先端研究審査会議

訓令第9条第1項に規定する防衛医学先端研究審査会議（以下「審査会議」という。）の庶務は、人事教育局衛生官において処理するものとする。

7 実施の協力

防衛医科大学校、部隊等（陸上自衛隊、海上自衛隊又は航空自衛隊の部隊又は機関をいう。）は、防衛医学先端研究の実施に関し、相互に密接に協力しなければならない。

8 研究結果の公開

- (1) 防衛医学先端研究により得られた研究結果については、原則として公開するものとする。
- (2) 防衛医学先端研究により得られた研究結果又はその経過の全部若しくは一部を刊行し、又は新聞雑誌等に掲載する場合においては、防衛医学先端研究による研究の結果であることを明記しなければならない。

9 経費総額及び採択件数

一つの課題別研究における経費総額は、9,000万円以内とする。また、毎年度の採択件数（新規と継続を合わせた件数）の上限は、5件とする。ただし、防衛大臣が特に必要と認めた場合は、この限りでない。

10 審査及び評価

防衛医学先端研究の実施に係る審査及び評価に関する要領については、付紙のとおりとする。

防衛医学先端研究の審査及び評価要領について

1 目的

この要領は、審査会議において行う防衛医学先端研究に係る審査及び評価に関し、必要な事項を定めることにより、その適正な実施を図ることを目的とする。

2 審査要領

(1) 申請審査

ア 審査方針

- (ア) 申請審査は、質の高い審査を実施することによって、優れた研究が効率的・効果的に行われ、大きな研究成果が期待できるとともに、今後の防衛装備品開発等を通じて、自衛隊の部隊運用並びに防衛医科大学校の教育及び研究に資する研究を選定することを目的として行う。
- (イ) 研究課題の選定にあたっては、独自性、創造性、研究目的の明確さ等を考慮するとともに、研究計画の内容は明確であり、毎年度の計画は具体的かつ実現可能であるか等、当該研究者の研究遂行能力も厳正に評価し、防衛医学先端研究の目的に照らして特に重要なものを優先順位を付与した上で選定・採択する。
- (ウ) 研究経費を減額することが相当であると認められる場合には、研究計画の見直しを求めるものとする。
- (エ) 研究経費の不合理な重複や一部の研究に過度に集中することのないように留意する。
- (カ) 課題別研究計画書に事実と異なる記載をしていた場合は、研究課題の不採択、採択取り消し又は減額配分とする。

イ 評定要素

- (ア) 学術的重要性
 - a 学術的に見て、推進すべき重要な研究課題であるか。
 - b 研究課題の核心をなす学術的「問い」は明確であり、学術的独自性や創造性が認められるか。
 - c 研究計画の着想に至る経緯や、関連する国内外の研究動向と研究の位置づけは明確であるか。
- (イ) 研究計画及び研究方法の妥当性
 - a 研究目的に沿って、当該研究の位置付けや役割が明確になっており、防衛医学分野の研究発展に繋がることが期待できるか。
 - b 研究目的を達成するため、研究方法等は具体的かつ適切であるか。また、研究経費は研究計画と整合性がとれたものとなっているか。
 - c 研究経費の内容は妥当であり、有効に使用されることが見込まれるか。
 - d 他の研究費との不合理な重複や過度の研究費の集中の可能性はないか。

- (ウ) 研究組織、研究遂行能力の適切性
- a 研究推進に十分貢献できる研究者により研究組織が構成されているか。
 - b 研究者のこれまでの研究業績に鑑み、所期の成果をあげることが期待できるか。
 - c 研究計画の遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等、研究環境は整っているか。

ウ 審査方法

- (ア) 防衛医学先端研究に関する有識者会議（以下「有識者会議」という。）は、学校長から申請のあった防衛医学先端研究課題別研究計画書（別紙様式第2）の案について、前号「評定要素」に着目し、書面及びヒアリングによる審査を行い、防衛医学先端研究申請評価表（別紙様式第6）により評価する。
- (イ) 有識者会議は、評価した内容を防衛医学先端研究作業部会（以下「作業部会」という。）に提出する。
- (ウ) 作業部会は、有識者会議が評価した内容について審議を行い、その内容を審査会議に報告する。
- (エ) 審査会議は、作業部会の報告に基づき審議を行い、その内容を防衛大臣に答申する。
- (オ) 申請審査基準

評価	審査基準	評価分布 (基準)	経費査定率 (基準)
S	最優先で採択すべき研究	10%	計画と同額 (100%)
A	積極的に採択すべき研究	10%	計画より減額 (90%)
B	採択してもよい	10%	計画より減額 (80%)
C	採択には十分な考慮が必要である	70%	—
D	採択すべきではない		—

- a 評価分布の件数は、申請件数に評価分布の割合を乗じた件数を基準とする。ただし、申請件数が採択上限数を超える場合の各評価における採択件数は、採択上限数に各評価分布の割合を乗じた件数を基準とする。
- b 採択された課題別研究（新規分）の概算要求額は、防衛医学先端研究

課題別研究計画書（別紙様式第2）に記載された初年度の経費に経費査定率を乗じた額を基準とする。

(カ) 評価結果の開示

評価結果は、評価者が特定されないように配慮した上で、開示することができるものとする。

(2) 年度計画審査

ア 審査方針

(ア) 年度計画審査は、対象となる研究課題の準備又は進捗状況を把握し、当該研究の発展に資することを目的として行う。

(イ) 各研究課題の進捗状況等を把握し、継続実施に係る可否の判断及び課題別研究に優先順位を付与する。

イ 評定要素

(ア) 研究の準備・進展状況

a 研究目的を達成するための準備状況は適切であるか。

b 当初研究目的に沿って、着実に研究が進展しているか。

c 今後の研究推進上、問題なる点はないか。

(イ) 研究成果

a 当初の研究目的に照らして、現時点で期待された成果をあげているか。

b 研究内容・研究成果の積極的な公表、普及に努めているか。

(ウ) 研究費の使用

a 購入された備品等は有効に活用されているか。

b その他、研究費は効果的に使用されているか。

(エ) 研究目的の達成見込み

a 研究期間が終了するまでの間に研究目的を達成する見込みがあるか。

b 今後の研究計画の妥当性はどうか。

ウ 審査方法

(ア) 有識者会議は、学校長から報告のあった防衛医学先端研究課題別研究年度計画書（別紙様式第3）及び防衛医学先端研究課題別研究年度報告書（別紙様式第5）について、前号「評定要素」に着目し、書面及びヒアリングによる審査を行い、防衛医学先端研究年度計画評価表（別紙様式第7）により評価する。

(イ) 有識者会議は、評価した内容を作業部会に提出する。

(ウ) 作業部会は、有識者会議が評価した内容について審議を行い、その内容を審査会議に報告する。

(エ) 審査会議は、作業部会の報告に基づき審議を行い、その内容を防衛大臣に報告する。

(オ) 年度計画審査基準

ア 委員用

評価	評価内容	評価分布
A+	当初目的を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる。	研究の進捗状況により評価するため、絶対評価とする。
A	当初の目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる。	
B	当初の目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後の努力が必要である。	
C	当初の目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である。	
D	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究の中止が適当である。	

イ 総合評価用

総合評価	評価分布 (基準)	件数	経費査定率 (基準)
A+	40%	2件	計画と同額以上
A			計画と同額 (100%)
B	40%	2件	計画より減額 (80%)
C	20%	1件	計画より減額 (70%)
D		—	—

- (ア) A+の評価の件数は、最大1件とする。
(イ) A+の評価における経費配分額は、期待以上の成果が見込まれる研究成

果の内容に応じた額とし、防衛医学先端研究の予算の範囲内で防衛医学先端研究審査会議において協議し決定する。その際、他の研究費が減額される等の影響があるため、経費配分額の決定に際しては、細心の注意を払わなければならない。

(ウ) 課題別研究(継続分)の概算要求額は、防衛医学先端研究課題別研究計画書(別紙様式第2)に記載された当該研究計画の研究実施年度(2年度又は3年度)に応じた経費に経費査定率を乗じた額を基準とする。

(エ) 評価結果の開示

評価結果は、評価者が特定されないように配慮した上で、開示することができるものとする。

(3) 成果審査

ア 審査方針

成果審査は、対象となる研究課題の目的達成度等を把握するとともに、当該研究の発展に資することを目的として行う。

イ 評定要素

(ア) 研究目的の達成度

- a 当初予見していなかった展開を含め、当初の研究目的又はそれと同等以上の研究の進展があったか。
- b 研究実行時に生じた問題等への対応は適切であったか。
- c 関連する研究分野の発展に対し、革新的な貢献があったか。

(イ) 研究成果

- a 当初予見していなかった成果を含め、防衛医学分野を牽引する卓越した成果を上げたか。
- b 研究内容・研究成果の積極的な公表、普及に努めたか。

(ウ) 研究費の使用

- a 購入された備品等は有効に活用されたか。
- b その他、研究費は効果的に使用されたか。

ウ 審査方法

(ア) 有識者会議は、学校長から報告のあった防衛医学先端研究課題別研究成果報告書(別紙様式第4)について、前号「評定要素」に着目し、書面及びヒアリングによる審査を行い、防衛医学先端研究成果評価表(別紙様式第8)により評価する。

(イ) 有識者会議は、評価した内容を作業部会に提出する。

(ウ) 作業部会は、有識者会議が評価した内容について審議を行い、その内容を審査会議に報告する。

(エ) 審査会議は、作業部会の報告に基づき審議を行い、その内容を防衛大臣に報告する。

(オ) 成果審査基準

評価	評価内容	評価分布
A+	期待以上の成果があった。	研究の成果状況により評価するため、絶対評価とする。
A	期待どおりの成果があった。	
B	概ね期待どおりの成果があったが、一部十分ではなかった。	
C	十分ではなかったが一応の成果があった。	
D	期待された成果がなかった。	

(カ) 評価結果の開示

評価結果は、評価者が特定されないように配慮した上で、開示することができるものとする。

3 守秘の徹底

- (1) 審査・評価の過程は、非公開とする。
- (2) 防衛医学先端研究審査会議構成員、防衛医学先端研究作業部会部会員及び防衛医学先端研究に関する有識者会議委員（以下「構成員等」という。）は、評価の過程で知り得ることのできた次の各号に掲げる情報を他に漏らしてはならない。
 - ア 審査意見書及び評価意見書並びにその内容
 - イ 構成員等の発言内容及び評価に関連して構成員等を特定できる情報（氏名、所属機関及び専門分野を含む）
 - ウ 構成員等が行う評価の評点及びその集計結果
 - エ 評価の結果（被評価者に開示されるまでの間）
 - オ その他非公表とされている情報

4 その他

防衛医学先端研究の審査及び評価に必要な細部事項は、人事教育局衛生官から指示させる。

防衛医学先端研究課題別研究要望書

- 1 研究要望課題名：
- 2 研究完了希望時期： 年度まで
- 3 研究の目的、必要性及び期待される成果

- 4 この研究に関連して現在までに行った研究状況

- 5 研究で協力可能な施設等（自衛隊の部隊等で、協力可能な施設がある場合は記載する。）

施設等名	所在地	研究内容	理 由

記載要領

1. 「研究要望課題番号」について

各研究要望課題名毎に研究要望課題番号を記載すること。

例1： 統 — 2 7 — 1
 (統合幕僚監部) — (研究開始予定年度) — (整理番号))

例2： 陸 — 2 7 — 1
 (陸上幕僚監部) — (研究開始予定年度) — (整理番号))

例3： 海 — 2 7 — 1
 (海上幕僚監部) — (研究開始予定年度) — (整理番号))

例4： 空 — 2 7 — 1
 (航空幕僚監部) — (研究開始予定年度) — (整理番号))

※複数の研究要望がある場合の研究要望課題番号は優先順位とする。

2. 「1. 研究要望課題名」について

研究の目的と成果が分かる課題名にすること。

3. 「2. 研究完了希望時期」について

当該課題別研究の完了希望時期を記載すること。

4. 「3. 研究の目的、必要性及び期待される成果」について

(1) 研究の目的及び必要性については、適宜文献を引用しつつ、具体的かつ明確に記載すること。複数年にわたる研究の場合は、これまでに実施した研究内容など、研究の最終目標を達成するために必要な各年度の研究内容や期待される成果が分るように記載すること。

(2) 期待される成果については、当該研究がどのように部隊運用に資するのか等について、その具体的な内容や例を記載すること。

4. 「4. この研究に関連して現在までに行った研究状況」について

当該研究に関連して現在までに行った研究状況について、記載すること。

5. 「5. 研究で協力可能な施設等」について

研究で協力可能な施設等については、自衛隊の部隊等で協力可能な施設がある場合には、施設等名、所在地、当該施設等での研究内容、当該施設が協力可能な理由を記載する。

防衛医学先端研究課題別研究計画書

- 1 研究課題名：
- 2 総経費見積額： 円
- 3 研究実施予定期間： 年 月から 年 月まで
- 4 研究の概要

[illegible]

5 研究の目的及び必要性

6 期待される成果

7 本研究に関連する国内外における研究状況及び本研究の特色

8 研究の内容

(1) 研究計画・方法

【初年度】
【2年度】
【3年度】
【研究課題の工程表】

(2) 研究者等

[illegible]

(3) 研究で使用する施設（防衛医科大学校以外において研究を実施する場合は記載する。）

[illegible]

9 倫理面への配慮

遵守すべき研究に関する指針等 (研究の内容に照らし遵守すべきものについては、該当する□にレ印を記入する。(複数可)) ☐ 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 ☐ ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針 ☐ 遺伝子治療等臨床研究に関する指針 ☐ その他の指針等 (指針等の名称：)	
---	--

10 本研究に関連して現在までの研究状況及び研究者の研究歴等（発表業績等（著者氏名・発表論文名・学協会誌名・発表年（西暦）・巻号（最初と最後の頁）、特許の取得・申請状況）ある場合は記載する。）

[illegible]

11 参考文献

12 研究に要する経費

(1) 各年度別経費内訳

年 度	研究経費合計	内 訳		
		教育訓練用備品費	教育訓練演習費	〇〇〇費
	千円	千円	千円	千円
年度				
年度				
年度				
合 計				

(2) 教育訓練用備品費の内訳

年 度	内 容	数 量	金 額	備 考
			千円	
年度				
年度				
年度				
合 計				

(3) 教育訓練演習費の内訳

ア 消耗品

年 度	内 容	金 額	備 考
年度		千円	
年度			
年度			
合 計			

イ 印刷製本費

年 度	内 容	金 額	備 考
年度		千円	
年度			
年度			
合 計			

ウ 通信運搬費

年 度	内 容	金 額	備 考
年度		千円	
年度			
年度			
合 計			

エ 光熱水料

年 度	内 容	金 額	備 考
年度		千円	
年度			
年度			
合 計			

オ 借料及び損料

年 度	内 容	数 量	金 額	備 考
年度			千円	
年度				
年度				
合 計				

カ 雑役務費

年 度	内 容	数 量	金 額	備 考
年度			千円	
年度				
年度				
合 計				

キ 諸謝金

年 度	内 容	数 量	金 額	備 考
年度			千円	
年度				
年度				
合 計				

ク 宿泊費

年 度	宿泊地	単 価	人 数	泊 数	金 額	備 考
年度		円			千円	
年度						
年度						
合 計						

ケ その他

年 度	内 容	金 額	備 考
年度		千円	
年度			
年度			
合 計			

(4) ○○○費の内訳

年 度	内 容	金 額	備 考
年度		千円	
年度			
年度			
合 計			

記載要領

1. 「1. 研究課題名」について

(1) 研究の目的と成果が分かる課題名にすること。

(2) 括弧内には、研究課題番号を記載すること。

例： 先端 － 2 7 － 1
 (先端研究)－(研究開始予定年度)－(整理番号))

2. 「2. 総経費見積額」について

研究の実施に必要な総経費見積額を記載すること。

3. 「3. 研究実施予定期間」について

当該課題別研究の実施予定期間を記載すること。複数年度にわたる研究の場合の研究期間は、原則として3年間とする。

4. 「4. 研究の概要」について

(1) 「5. 研究の目的、必要性」、「6. 期待される成果」、「7. 本研究に関連する国内外における研究状況及び本研究の特色」、「8. 研究の内容 ((2)及び(3)は除く。）」、「9. 倫理面への配慮」の要旨を1, 0 0 0字程度で簡潔に記載すること。

(2) 当該課題別研究に関連する研究要望課題番号を記載する。

(3) 研究の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記載又は添付すること。

5. 「5. 研究の目的、必要性」について

(1) 研究の目的及び必要性については、適宜文献を引用しつつ、1, 0 0 0字程度で具体的かつ明確に記載すること。複数年にわたる研究の場合は、これまでに実施した研究内容など、研究の最終目標を達成するために必要な各年度の研究内容や期待

される成果が分るように記載すること。

- (2) 研究期間内に何をどこまで明らかにするか、各年度の目標を明確にしたうえで記載すること。

6. 「6. 期待される成果」について

期待される成果については、当該研究がどのように部隊運用に資するのか等について、その具体的な内容や例を600字程度で記載すること。

7. 「7. 本研究に関連する国内外における研究状況及び本研究の特色」について

- (1) 当該研究計画に関して現在までに行った研究等、研究の最終的な目標を達成するのに必要な他の研究計画と、当該研究計画の関係を明確にすること。
- (2) 研究の特色については、本研究に関する国内・国外の他の研究の進捗状況と課題（どこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのか）を踏まえて600字程度で適宜文献等を引用しながら具体的に記載すること。

8. 「8. 研究の内容」について

- (1) 研究の目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を各年度600字程度で具体的に記載し、工程表を記載又は添付すること。
- (2) 複数年度にわたる研究の場合には、研究の全体計画と各年度の関係がわかるように記載すること。
- (3) 研究者等については、研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者、研究分担者及び研究協力者の具体的な役割を明確に記載すること。
- (4) 研究者等については、本研究を実施するために参加する研究者の氏名、本研究における役割、所属機関名・現在の専門、所属機関における職名・階級、最終卒業学校、卒業年次、学位、専攻科目を記載する。（研究代表者、研究分担者（研究代表者と研究項目を分担して研究を実施する者をいう。）及び研究協力者（研究代表者の研究計画の遂行に協力する者（研究分担者を除く。）をいう。）について等具体的な役割を明確に記載すること。）
- (5) 研究で使用する施設については、防衛医科大学校以外において研究を実施する場合には、施設名、所在地、当該施設での研究内容、当該施設を使用しなければならない理由（防衛医科大学校での実施が困難な理由）を記載する。

9. 「9. 倫理面への配慮」について

- (1) 倫理面への配慮については、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除や説明と同意への対応状況及び実験動物に対する動物愛護上の配慮等を記載すること。
- (2) 倫理委員会等での了承が必要な場合、その名称、検討内容、評価結果等について記載する。

研究内容に応じて遵守しなければならない指針等がある場合はその名称も記載する。

- (3) 研究の内容に照らし、遵守しなければならない研究に関する指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「レ」を記載すること。（複数の指針等について、該当する場合は、それぞれの枠内に「レ」を記載すること。）その他研究内容に応じて遵守しなければならない指針等がある場合は、その名称も記載する。

10. 「10. 本研究に関連して現在までに行った研究状況及び研究者の研究歴等」について

- (1) 本研究に関連して現在までに行った研究状況について、記載すること。
- (2) 研究者の研究歴等については、過去に属した研究機関の履歴、主な共同研究者（又は指導を受けた研究者）、これまでの研究実績（論文の本数、受賞数、特許権等知的財産権の取得数）等について記載すること。なお、論文については、査読されたものに限る。
- (3) 発表業績については、研究代表者及び研究分担者ごとに、それぞれ学術誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（過去3年間）を選択し、直近年度から順に記載すること。

11. 「11. 参考文献」について

引用した文献、論文等について記載すること。

12. 「12. 研究に要する経費」について

当該研究課題に要する経費を、年度別に記載すること。

年度防衛医学先端研究課題別研究年度計画書

- 1 研究課題名：
- 2 年度経費見積額： 円
- 3 研究実施予定期間： 年 月から 年 月まで
() 年計画の () 年目
- 4 研究の概要

[illegible]

5 研究の目的及び必要性

[illegible]

6 期待される成果

7 研究の内容

(1) 研究計画・方法

A series of five horizontal dashed lines for handwriting practice, evenly spaced across the page.

【研究課題の工程表】

(2) 研究者等

[illegible]

(3) 研究で使用する施設（防衛医科大学校以外において研究を実施する場合は記載する。）

[illegible]

8 倫理面への配慮

遵守すべき研究に関する指針等
(研究の内容に照らし遵守すべきものについては、該当する□にレ印を記入する。(複数可))

☐ 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針

☐ ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針

☐ 遺伝子治療等臨床研究に関する指針

☐ その他の指針等 (指針等の名称：)

9 研究に要する経費

区 分	内 容	金 額	備 考
教育訓練用備品費		千円	
小 計			
教育訓練演習費	消耗品 印刷製本費 通信運搬費 光熱水料 借料及び損料 雑役務費 諸謝金 宿泊費 その他	千円	
小 計			
合 計			

記載要領

1. 「1. 研究課題名」について

「防衛医学先端研究課題別研究計画書（様式第2号）」で使用した課題名とする。

2. 「2. 年度経費見積額」について

当該年度（1会計年度）の研究の実施に必要な経費見積額を記載すること。

3. 「3. 研究実施予定期間」について

当該年度の研究実施予定期間を記載すること。

4. 「4. 研究の概要」について

- (1) 当該年度の研究計画の要旨を1,000字程度で簡潔に記載すること。
- (2) 研究の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記載又は添付すること。
- (3) 継続研究（2年目以降）の場合は、進捗状況が分かるように記載するとともに、変更点があれば明示すること。
- (4) 当該課題別研究に関連する研究要望課題番号を記載する。

5. 「5. 研究の目的及び必要性」について

- (1) 研究の目的及び必要性については、適宜文献を引用しつつ、1,000字程度で具体的かつ明確に記載すること。
- (2) 研究期間内に何をどこまで明らかにするか、各年度の目標を明確にしたうえで記載すること。

6. 「6. 期待される成果」について

- (1) 期待される成果については、当該研究が部隊運用へどのように貢献するのか等について、その具体的な内容や例を600字程度で記載すること。
- (2) 複数年にわたる研究である場合は、研究の最終目標を達成するために必要な当該年度の期待される成果がわかるように記載する。

7. 「7. 研究の内容」について

- (1) 研究の目的を達成するための具体的な研究計画及び方法を1,600字程度で具体的に記載し、工程表を記載又は添付すること。
- (2) 複数年にわたる研究の場合には、研究の全体計画と当該年度の関係がわかるように記載すること。
- (3) 研究者等については、当該年度の研究を実施するために参加する研究者の氏名、本研究における役割、所属機関名・現在の専門、所属機関における職名・階級、最終卒業学校、卒業年次、学位、専攻科目を記載する。（研究代表者、研究分担者（研究代表者と研究項目を分担して研究を実施する者をいう。）及び研究協力者（研究代表者の研究計画の遂行に協力する者（研究分担者を除く。）をいう。）について記載すること。）
- (4) 研究で使用する施設については、防衛医科大学校以外において研究を実施する場合には、施設名、所在地、当該施設での研究内容、当該施設を使用しなければならない理由（防衛医科大学校での実施が困難な理由）を記載する。

8. 「8. 倫理面への配慮」について

- (1) 倫理面への配慮については、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除や説明と同意への対応状況及び実験動物に対する動物愛護上の配慮等を記載

すること。

(2) 倫理員委員会等での了承が必要な場合、その名称、検討内容、評価結果等について記載する。

(3) 研究の内容に照らし、遵守しなければならない研究に関する指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「レ」を記載し（複数の指針等について、該当する場合は、それぞれの枠内に「レ」を記載すること。）その他研究内容に応じて遵守しなければならない指針等がある場合はその名称も記載する。

9. 「9. 研究に要する経費」について

当該年度の研究課題に要する経費を記載すること。

防衛医学先端研究課題別研究成果報告書

- 1 研究課題名：
- 2 総経費執行額： 円
- 3 研究実施期間： 年 月 日から 年 月 日まで
- 4 研究結果の概要

[illegible]

- ## 5 研究の目的及び必要性

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

6 研究の内容（研究方法・手段等）

[illegible]

7 研究により得られた成果

[illegible]

8 倫理面への配慮

遵守すべき研究に関する指針等
 （研究の内容に照らし遵守すべきものについては、該当する□にレ印を記入する。（複数可））

- ☐ 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針
- ☐ ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針
- ☐ 遺伝子治療等臨床研究に関する指針
- ☐ その他の指針等（指針等の名称：)

9 参考文献

[illegible]

10 研究発表

(1) 雑誌論文 計 () 件 うち査読付論文 計 () 件

著者名	論文表題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					

(2) 学会発表 計 () 件 うち招待講演 計 () 件

発表者名	発表表題	
学会等名	発表年月日	発表場所

(3) 図書 計 () 件

著者名	出版社		
図書名	発行年	総ページ数	

11 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

(1) 出願 計 () 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

(2) 取得 計 () 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				取得年月日	

12 研究者等

[illegible]

13 研究で使用した施設（防衛医科大学校以外において、研究を実施した場合は記載する。）

[illegible]

14 研究に要した経費

(1) 各年度別経費内訳

年 度	研究経費合計	内 訳		
		教育訓練用備品費	教育訓練演習費	〇〇〇費
年度	千円	千円	千円	千円
----- 年度				
----- 年度				
合 計				

(2) 教育訓練用備品費の内訳

年 度	内 容	数 量	金 額	備 考
年度			千円	
----- 年度				
----- 年度				
合 計				

(3) 教育訓練演習費の内訳

ア 消耗品

年 度	内 容	金 額	備 考
年度		千円	
----- 年度			
----- 年度			
合 計			

イ 印刷製本費

年 度	内 容	金 額	備 考
年度		千円	
----- 年度			
----- 年度			
合 計			

ウ 通信運搬費

年 度	内 容	金 額	備 考
年度		千円	
年度			
年度			
合 計			

エ 光熱水料

年 度	内 容	金 額	備 考
年度		千円	
年度			
年度			
合 計			

オ 借料及び損料

年 度	内 容	数 量	金 額	備 考
年度			千円	
年度				
年度				
合 計				

カ 雑役務費

年 度	内 容	数 量	金 額	備 考
年度			千円	
年度				
年度				
合 計				

キ 諸謝金

年 度	内 容	数 量	金 額	備 考
年度			千円	
年度				
年度				
合 計				

ク 宿泊費

年 度	宿泊地	単 価	人 数	泊 数	金 額	備 考
年度		円			千円	
年度						
年度						
合 計						

ケ その他

年 度	内 容	金 額	備 考
年度		千円	
年度			
年度			
合 計			

(4) ○○○費の内訳

年 度	内 容	金 額	備 考
年度		千円	
年度			
年度			
合 計			

記載要領

1. 「1. 研究課題名」について

「防衛医学先端研究課題別研究計画書（様式第2号）」で使用した課題名とする。

2. 「2. 総経費執行額」について

研究の実施に要した総経費執行額を記載すること。

3. 「3. 研究実施期間」について

当該研究の実施期間を記載すること。

4. 「4. 研究結果の概要」について

- (1) 当該研究の成果及びその利用上の効果等を記載すること。
- (2) 当該研究の研究計画書時における研究の概要との関連が明らかとなるように記載すること。
- (3) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の研究計画と各年度における研究結果との関係が分かるように記載すること。

5. 「5. 研究の目的及び必要性」について

- (1) 研究の目的及び必要性については、適宜文献を引用しつつ、1,000字程度で具体的かつ明確に記載すること。複数年にわたる研究の場合は、これまでに実施した研究内容など、研究の最終目標を達成するために必要な各年度の研究内容や期待される成果が分るように記載すること。
- (2) 研究期間内に何をどこまで明らかにするか、各年度の目標を明確にしたうえで記載すること。

6. 「6. 研究の内容」について

- (1) 主要な研究方法、手段等の経過を簡潔に記載すること。
- (2) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の研究の実施経過と当該研究年度における研究の実施経過との関係が分かるように記載すること。
- (3) 当該研究の研究計画提出時における研究計画との関連が明らかになるように記載すること。

7. 「7. 研究により得られた成果」について

- (1) 当該研究の成果が明らかになるように具体的に記載すること。
- (2) 当該研究の成果及びその利用上の効果等を記載すること。
- (3) 当該研究の研究計画書時における研究の概要との関連が明らかとなるように記載すること。

8. 「8. 倫理面への配慮」について

- (1) 倫理面への配慮については、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除や説明と同意への対応状況及び実験動物に対する動物愛護上の配慮等を記載すること。
- (2) 倫理委員会等での了承が必要な場合、その名称、検討内容、評価結果等について記載する。
研究内容に応じて遵守しなければならない指針等がある場合はその名称も記載する。
- (3) 研究の内容に照らし、遵守しなければならない研究に関する指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「レ」を記載し（複数の指針等について、該当する場

合は、それぞれの枠内に「レ」を記載すること。) その他研究内容に応じて遵守しなければならない指針等がある場合は、その名称も記載する。

9. 「9. 参考文献」について

引用した文献、論文等について記載すること。

10. 「10. 研究発表」について

当該研究の成果を発表した雑誌論文、学会発表及び図書について記載すること。

11. 「11. 知的財産権の出願・登録状況」について

当該研究の知的財産権の出願・登録状況について記載すること。

12. 「12. 研究者等」について

- (1) 研究者等については、研究計画を遂行するための研究体制について、研究代表者、研究分担者及び研究協力者の具体的な役割を明確に記載すること。
- (2) 研究者等については、本研究を実施するために参加する研究者の氏名、本研究における役割、所属機関名・現在の専門、所属機関における職名・階級、最終卒業学校、卒業年次、学位、専攻科目を記載し（研究代表者、研究分担者（研究代表者と研究項目を分担して研究を実施する者をいう。）及び研究協力者（研究代表者の研究計画の遂行に協力する者(研究分担者を除く。)をいう。）について等具体的な役割を明確に記載すること。）

13. 「13. 研究で使用した施設」について

研究で使用した施設については、当該年度に防衛医科大学校以外において研究をする場合は、施設名、所在地、当該施設での研究内容、当該施設を使用しなければならない理由について記載する。

14. 「14. 研究で使用した経費」について

当該研究課題に要した経費を、年度別に記載すること。

年度防衛医学先端研究課題別研究年度報告書

- 1 研究課題名：
- 2 年度経費執行額： 円
- 3 研究実施期間： 年 月 日から 年 月 日まで
() 年計画の () 年目
- 4 研究結果の概要

[illegible]

- ## 5 研究の目的及び必要性

[illegible]

6 研究の内容（研究方法・手段等）

[illegible]

7 研究により得られた成果

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

8 倫理面への配慮

遵守すべき研究に関する指針等

(研究の内容に照らし遵守すべきものについては、該当する□にレ印を記入する。(複数可))

☐ 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針

☐ ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針

☐ 遺伝子治療等臨床研究に関する指針

☐ その他の指針等(指針等の名称：)

9 参考文献

This image shows a blank sheet of white paper with ten horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and extend across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

10 研究発表

(1) 雑誌論文 計 () 件 うち査読付論文 計 () 件

著者名	論文表題				
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子)					

(2) 学会発表 計 () 件 うち招待講演 計 () 件

発表者名	発表表題	
学会等名	発表年月日	発表場所

(3) 図書 計 () 件

著者名	出版社		
図書名	発行年	総ページ数	

11 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

(1) 出願 計 () 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

(2) 取得 計 () 件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				取得年月日	

12 研究者等

[illegible]

13 研究で使用した施設 (防衛医科大学校以外において、研究を実施した場合は記載する。)

[illegible]

14 研究に要した経費

区 分	内 容	金 額	備 考
教育訓練用備品費		千円	
小 計			
教育訓練演習費	消耗品 印刷製本費 通信運搬費 光熱水料 借料及び損料 雑役務費 諸謝金 宿泊費 その他	千円	
小 計			
合 計			

記載要領

1. 「1. 研究課題名」について

「防衛医学先端研究課題別研究計画書（様式第2号）」で使用した課題名とする。

2. 「2. 年度経費執行額」について

当該年度（1会計年度）の研究の実施に要した経費執行額を記載すること。

3. 「3. 研究実施期間」について

当該年度の研究の実施期間を記載すること。

4. 「4. 研究結果の概要」について

- (1) 当該研究の成果及びその利用上の効果等を記載すること。
- (2) 当該研究の研究計画書時における研究の概要との関連が明らかとなるように記載すること。
- (3) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の研究計画と当該事業年度における研究結果との関係が分かるように記載すること。また、最終年度の場合には、研究全体の研究結果を併せて記載すること。

5. 「5. 研究の目的及び必要性」について

- (1) 研究の目的及び必要性については、適宜文献を引用しつつ、1, 0 0 0 字程度で具体的かつ明確に記載すること。
- (2) 研究期間内に何をどこまで明らかにするか、各年度の目標を明確にしたうえで記載すること。

6. 「6. 研究の内容」について

- (1) 主要な研究方法、手段等の経過を簡潔に記載すること。
- (2) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の研究の実施経過と当該研究年度における研究の実施経過との関係が分かるように記載すること。
- (3) 当該研究の研究計画提出時における研究計画との関連が明らかになるように記載すること。

7. 「7. 研究により得られた成果」について

- (1) 当該年度の研究成果が明らかになるように具体的に記載すること。
- (2) 当該研究の成果及びその利用上の効果等を記載すること。
- (3) 当該研究の研究計画書時における研究の概要との関連が明らかとなるように記載すること。
- (4) 複数年度にわたる研究の場合には、研究全体の研究計画と当該年度における研究結果との関係が分かるように記載すること。また、最終年度の場合には、研究全体の研究結果を併せて記載すること。

8. 「8. 倫理面への配慮」について

- (1) 倫理面への配慮については、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、不利益・危険性の排除や説明と同意への対応状況及び実験動物に対する動物愛護上の配慮等を記載すること。
- (2) 倫理委員会等での了承が必要な場合、その名称、検討内容、評価結果等について記載する。
研究内容に応じて遵守しなければならない指針等がある場合はその名称も記載する。
- (3) 研究の内容に照らし、遵守しなければならない研究に関する指針等については、該当する指針等の「□」の枠内に「レ」を記載すること。（複数の指針等について、該当する場合は、それぞれの枠内に「レ」を記載すること。）その他研究内容に応じて遵守しなければならない指針等がある場合は、その名称も記載する。

9. 「9. 参考文献」について

引用した文献、論文等について記載すること。

10. 「10. 研究発表」について

当該年度中の成果を発表した雑誌論文、学会発表及び図書について記載すること。

11. 「11. 知的財産権の出願・登録状況」について

当該年度中の知的財産権の出願・登録状況について記載すること。

12. 「12. 研究者等」について

研究者等については、当該年度の研究を実施するために参加する研究者の氏名、本研究における役割、所属機関名・現在の専門、所属機関における職名・階級、最終卒業学

校、卒業年次、学位、専攻科目を記載する。（研究代表者、研究分担者（研究代表者と研究項目を分担して研究を実施する者をいう。）及び研究協力者（研究代表者の研究計画の遂行に協力する者(研究分担者を除く。)をいう。）について記載すること。）

13. 「13. 研究で使用した施設」について

研究で使用した施設については、当該年度に防衛医科大学校以外において研究を実施場合は、施設名、所在地、当該施設での研究内容、当該施設を使用した理由（防衛医科大学校での実施が困難な理由）について記載する。

14. 「14. 研究で使用した経費」について

当該年度の研究課題に要した経費を記載すること。

防衛医学先端研究申請評価表

1 研究課題名：

2 評価内容（相対評価）

区分	学術的重要性	研究計画及び 研究方法の妥 当性	研究遂行能力及び 研究環境の適切性	研究経費の妥 当性	総合評価 (合計点数)
評価点	_____点	_____点	_____点	_____点	総合評価 _____ (_____点)



各評価点の基準	
5 点	特に優れている
4 点	優れている
3 点	普通
2 点	やや劣る
1 点	劣る

総合評価基準	
評価 A	17 点～20 点
評価 B	13 点～16 点
評価 C	9 点～12 点
評価 D	4 点～8 点

3 意見

良い点

悪い点

評価内容

委員氏名_____

防衛医学先端研究年度計画評価表

1 研究課題名：

2 評価内容（絶対評価）

区分	研究の進展状況	研究成果	研究費の使用	研究の目的の 達成見込み	総合評価 (合計点数)
評価点	_____点	_____点	_____点	_____点	総合評価 _____ (_____点)



各評価点の基準	
5 点	特に優れている
4 点	優れている
3 点	普通
2 点	やや劣る
1 点	劣る



総合評価基準	
評価 A	17 点～20 点
評価 B	13 点～16 点
評価 C	9 点～12 点
評価 D	4 点～8 点

3 意見

良い点

悪い点

評価内容

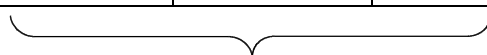
委員氏名_____

防衛医学先端研究成果評価表

1 研究課題名：

2 評価内容（絶対評価）

区分	研究目的の達成度	研究成果	研究費の使用	総合評価 (合計点数)
評価点	_____点	_____点	_____点	総合評価 _____ (_____点)



各評価点の基準	
5 点	特に優れている
4 点	優れている
3 点	普通
2 点	やや劣る
1 点	劣る



総合評価基準	
評価 A	13 点～15 点
評価 B	10 点～12 点
評価 C	6 点～9 点
評価 D	3 点～5 点

3 意見

良い点	
悪い点	
評価内容	

委員氏名 _____